

広報

ほろがよい

2022年

1

No.793



幌加内町

検索



[表紙] 威風堂堂 ～力強く～

年頭挨拶

町民の皆様の幸せを願って

幌加内町長

細川雅弘



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、未だ収束をみない新型コロナウイルス感染症により、多くの尊い命が失われ社会経済にも甚大な影響を与えました。

感染者数は国内では減少の傾向にありますが、世界的にみると増加に転じている国も多く今だ予断を許さない状況です。

この間、町民の皆様にはマスク着用をはじめ、手指消毒、三密対策などを徹底していただき、ご苦労やご負担をおかけするなど、コロナ対策にご理解とご協力を賜っていますことに敬意と感謝を申し上げます。

今後も感染抑止を促進するとともに3回目のワクチン接種の

準備をしているところであり、重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年は本町の将来を見据え「幌加内町まちづくりビジョン策定ワークショップ」を10代から40代までの18名の方々により立ち上げ、既存施設の有効活用、人口減少を見据えたまちづくりについて、自分たちの町の将来を自ら考える構想づくりに精力的に話し合いが進められ、その成果が出る重要な年であります。私もそれを受け前向きに幌加内町の今後を考え、将来を見据えたまちづくりを熟慮する年になるものと考えております。

また、町の一大イベント「幌加内町新そば祭り」の2年連続の中止、その他各種イベントの縮小開催、中止が続くコロナ禍による影響がいたるところで本町にも影響を及ぼし経済活動の停滞、新しい生活様式での過ごし方など、今までとは違う様変わりした年でもありました。その中で、昨年は、一年遅れで東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの感動を得たこと、また、大リーグでは、大谷選手が投打の

二刀流での活躍、最優秀選手賞の受賞、ゴルフ界では世界最高峰の大会マスターズにおいて、日本人初の優勝を遂げた松山選手など、日本選手が数多くの栄冠を得た年であり、また、ノーベル物理学賞を日本人最年長90歳で真鍋淑朗氏が受賞するなどコロナ禍の中、胸踊る出来事が数多くあった年でもありました。町の動きの中では、廃棄物の最終処分場の整備、朱鞠内コミュニティセンターの改修、母子簡易郵便局の新たな開設など町民の皆さんが生活していく上での利便性の向上を図りました。

基幹産業である農業では、7月28日に本町の気象観測史上最高気温37・3度を記録する酷暑と干ばつの影響はありましたが、出来秋は米については、作況指数が北海道は108と良く、そばについても予定していた数量を確保でき、畑作、畜産を含め概ね良好な年でしたが、外食産業の低迷で農産物の価格下落傾向が今なお続いている状況です。

また、本町では自然の豊かさが見直された年でもありました。朱鞠内湖を中心としたキャンプ客の増加や、家族層による冬のワカサギ釣りの盛況と幻の魚「イトウ」の魅力にひかれ多くの釣り人が訪れました。この流れを止めぬよう、ライフラインの改修をはじめ自然を守りな

がら快適なアウトドアライフを楽しんでいただく整備を継続していきます。

国では、第2次岸田内閣が発足し、コロナ後の新しい社会の開拓のひとつに、地方でもこれまで進んでこなかったデジタル化の急速な発展が取り上げられ、高齢化や過疎化などの社会問題を解決するため新たな技術を活用するニーズがあり、近い将来には各種配達物の自動化、リモート技術を活用した働き方、農業や観光産業でのデジタル技術の活用が掲げられております。本町においても国の制度を活用しながら、時代の変化に対応し充実した地方での暮らしの向上のための確に対応していく所存です。

その他、朱鞠内小学校の山村留学促進、幌加内高校における地域みらい留学365の推進、ふるさとワーキングホリデーの継続など町外の方々との交流を充実させ、本町の魅力発信をより強く推進してまいります。

結びに、コロナ禍を乗り越え、この一年が災害や事故もなく豊穡の秋と経済活動の回復により農産物価格が回復し、町民の皆様、そして本町にとりまして素晴らしい年になりますことを、心からご祈念申し上げます。挨拶といたします。

令和4年の新春を迎えて

幌加内町議会議長

小川 雅 昭



令和4年の新春を迎え、議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、新春を清々しくお迎えのことと推察し、心よりお慶び申し上げます。また、昨年中は議会活動及び町政の推進に格別のご理解とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年を顧みますと一昨年の1月に日本国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症が引き続き猛威を振るい、日本国内はもとより世界各国において全ての社会・経済活動が停滞する状況が続くといった人類史上類を見ない影響をもたらした年となりました。日本国内では、医療従事者を皮

切りに、高齢者、一般とワクチン接種が進み、現状では一定の水準で感染者が抑えられていますが、今後も予断を許さない状況が続いており、引き続き注意していく必要があると感じています。本町におきましても町民の9割余りの方が2回目のワクチン接種を終え、感染者も最小限で抑えられていることは町民皆様のご努力とご協力によるものと感謝を申し上げる次第であります。新型コロナウイルスの感染発症から2年もの歳月が経ち、国・道・市町村が一体となつて感染対策を行っておりますが、新たな変異株の出現などもあり以前のような生活スタイルを取り戻すまでには、まだまだ時間を要するものと感じております。

このような中であつて、明るい話題としては1年延期となつて開催された東京オリンピックにおいて、無観客ながらも多くの日本人選手が活躍され、夏季オリンピックとしては、過去最高となる58個のメダルを獲得するなど、自国開催に華を添えていただきましたことは一筋の光をもたらす出来事でもありました。また、テニスや野球、ゴルフなどのスポーツにおいても日本人選手の活躍が大きく報道され、活躍された選手はもとより、このような状況の中で大会を運営されました関係者の皆様には敬意を表するところであります。

さて、本町の基幹産業であります農業では、春の融雪も順調に進み、豊稔の秋を期待したところですが、稀にみる干ばつにより「そば」の生育が進まず、大幅な減収が余儀なくされていたところですが、8月に入ってから雨により、被害は最小限に抑えられ、コメについても干ばつの影響はほとんど無く、畑作物や酪農・畜産においても大きな影響が出なかったことには安堵しているところであります。しかし、長引くコロナの影響により外食産業の需要は依然として厳しい状況であり、農産物の価格低迷や過剰米の動向などについては今後も注視していく必要があると感じております。また、度重なる緊急事態宣言で大きな影響を受けた飲食・宿泊・観光業などについてもウイズコロナを見据えた支援が必要であり、今後も町民が一丸となつてこの大災害を乗り越えて行く必要があると感じています。

昨年10月に衆議院議員総選挙が行われ、第2次岸田内閣が発足されました。岸田内閣が掲げる「新しい資本主義」の主役は地方であり、「デジタルを通じての人口減少や高齢化などの課題を解決するとともに、地域活性化を進め、地方から国全体へボトムアップの成長を実現する。」としています。議会と致しましては課題山積の中で将来の幌加内町のあるべき姿を模索し、行政との連携を図りながら町民の皆様の付託に応えられるよう更に努力と研鑽を重ねて行く所存でありますので、今後とも尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

最後になりますが、皆様と共に一日でも早く以前の日常生活が取り戻されることを願うとともに、町民皆様のご多幸と健やかな毎日となりますことを心から祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

2022年 元日

名誉町民	町長	副町長	〇町議会	議長	副議長	議員	〇議会事務局	事務局長	庶務課事務係長	〇監査委員	代表監査委員	議選委員	〇教育委員会	教育長	教育長職務代理者	委員	〇農業委員会	会長	代理	〇町民
峰岸政義	細川弘	大野克彦	小川雅昭	中川雅義	中川秀雄	市村裕一	中村裕行	藤井祐	稲見隆浩	蔵前文彦	小関和明	加藤誠一	岡田由美	菊地勝美	稲見隆浩	笠井三貴	杉山守	笠井三貴	岩本靖幸	中西博
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
大野勝敏	稲見浩一	古屋伸幸	高山勝行	音成広樹	古林一文	中河聖弘	横窪敏明	櫻井美穂	伊藤慎一	農地係	〇選挙管理委員会	委員長	職務代理	坂本規康	新江宏文	吉成克彦	花岡美智子	能代恵子	〃	〃
〇町有林運営委員会	委員長	副委員長	委員	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
鈴木努	田丸利博	市村裕一	秋葉貫	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〇登録商標使用審議会	委員長	副委員長	委員	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠	中城誠行	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
小野寺栄治	大野克彦	田丸裕誠																		

交通安全指導員会	副会長	宮下卓久	〇幌加内土地改良区	営農課長	前田真作之	代表監事	松本定幸	〇土別警察署	幌加内駐在所 上野英樹
	副会長	杉山守	理事	長代理	古林茂一	監事	田中義博	朱鞠内駐在所 福田和彦	
〇老人クラブ連合会	会長	小林四郎	〇〇	営農課主査	墓田準也	〇幌加内町観光協会			〇空知森林管理署北空知支署
	副会長	山下俊明	〇〇	資材課長	岩本貴誓恵	会長	中南裕行	支署長	三橋博之
〇交通安全協会	会長	細川雅弘	〇〇	資材課主査	清原桂子	副会長	黒田綾子	〇北海道大学北方生物圏フイールド科学センター雨龍研究林	
	副会長	宮下卓久	〇〇	農機自動車整備工場長	宮田光利	理事	谷川優	〇北海道大学北方生物圏フイールド科学センター雨龍研究林	
〇自衛隊協力会	会長	細川雅弘	〇〇	幌加内給油所長	前田義則	〇〇	小関義明	〇郵便局	
	副会長	宮下卓久	〇〇	総務課長	本家徹	〇〇	井上憲明	〇郵便局	
〇自衛隊募集相談員	相談員	中村雅義	〇〇	〇〇	山本清志	〇〇	山本清志	〇郵便局	
	〇〇	福田裕	〇〇	〇〇	阿部勝次	〇〇	田中富士夫	〇郵便局	
〇町内学校PTA会長	会長	花井裕人	〇〇	〇〇	佐藤重夫	〇〇	川原誠	〇郵便局	
	副会長	西川徹	〇〇	〇〇	川嶋康義	〇〇	鈴木藤雄	〇郵便局	
〇連合PTA	会長	花井裕人	〇〇	〇〇	山田博文	〇〇	山下俊明	〇郵便局	
	副会長	仙丸孝司	〇〇	〇〇	川嶋教弘	〇〇	山田俊明	〇郵便局	
〇町内小学校PTA会長	会長	花井裕人	〇〇	〇〇	新江美田紀	〇〇	山田俊明	〇郵便局	
	副会長	中野村道宏	〇〇	〇〇	新江美田紀	〇〇	山田俊明	〇郵便局	
〇スポーツ協会	会長	水一光	〇〇	〇〇	高橋誠司	〇〇	川上環子	〇郵便局	
	副会長	田幸子	〇〇	〇〇	高橋誠司	〇〇	川上環子	〇郵便局	
〇スポーツ少年団	会長	細川雅弘	〇〇	〇〇	高橋誠司	〇〇	川上環子	〇郵便局	
	副会長	今津寛介	〇〇	〇〇	高橋誠司	〇〇	川上環子	〇郵便局	
〇文化連盟	会長	鷹栖町長	〇〇	〇〇	高橋誠司	〇〇	川上環子	〇郵便局	
	副会長	鷹栖町長	〇〇	〇〇	高橋誠司	〇〇	川上環子	〇郵便局	

財務係長 高木敏光	財務係主査兼危機対策係	財務係兼危機対策係兼出納係	総務係(再任用) 堺 秀樹	△出納室	会計管理者 蔵前裕幸	出納係長 佐藤雪枝	△朱鞠内支所	支 所 長 三上賢逸	係 荒 洸佑	△地域振興室	室 長 新江和夫	企画振興係長兼ふるさと納税係長	ふるさと納税係兼企画振興係	梅津孔希	▽産業課	課 長 清原吉典	課長補佐(農産加工総合研究センター) 石黒政士	主幹兼農林振興係長兼経済観光係長事務取扱 安藝修	農政係長 相澤雅彦	地籍係長(併) 櫻井美穂	産業課付(土地改良区派遣) 野村道宏	農林振興係主査兼経済観光係	農林振興係兼農政係	岡久貢太	大家 優	伊藤慎一	伊藤慎一																														
△農業技術センター センター長(兼) 清原吉典	センター次長(会年職) 吉田均	センター事務長(兼) 安藝修	▽建設課	課長兼雨竜ダム再生事業担当参事 宮田直樹	主幹兼上下水道係長事務取扱(技術長) 高田英樹	主幹兼土木維持係長事務取扱 山田英樹	主幹兼建築住宅係長事務取扱兼雨竜ダム再生事業担当主幹 藤田夏樹	主幹兼土木維持係主査 塚田裕紀	土木維持係 西成亜姫奈	上下水道係 塩地勇斗	建築住宅係 長野遼太郎	▽除雪センター 所長(兼) 宮田直樹	車両係長 佐藤和俊	管理係長 佐藤 淳	建設課付(再任用) 山谷弘一	▽住民課	課 長 山本久稔	課長補佐兼住民係長事務取扱 岩本美佐江	環境衛生係長 渡邊義夫	税務係長 丹波 洋	税務係兼住民係 佐々木亜文	住民係兼税務係 川内谷晋吾	住民係兼税務係 仙丸海里	環境衛生係兼住民係 別部龍星	▽保健福祉課	課 長 竹谷浩昌	主 幹 伊藤理加	副主幹兼しあわせ福祉係長 加藤美幸	すこやか保健係長 宮内智子	介護保険係長 北村卓也	あんしん介護係長兼理学療法士 小本剛	あんしん介護係主査兼すこやか保健係 寺林和哉	しあわせ福祉係兼すこやか保健係 小林大輝	すこやか保健係 滝本裕理香	▽保健福祉総合センター センター長(兼) 森崎龍郎	事務長(兼) 竹谷浩昌	○教育委員会 教育次長兼山村留学推進室室長 内山 涉	主幹兼学校教育係長事務取扱兼山村留学推進室参事 柏原潤	主幹兼社会教育係長事務取扱 加藤洋恵	(兼)山村留学推進室参事 新江和夫	学校教育係兼社会教育係 猪谷祐介	学校教育係兼社会教育係 大家 絢	社会教育係兼学校教育係 宮田晃佑	生涯学習推進アドバイザー 池原英二	高校魅力化コーディネーター 橋本暁人	▽幌加内高等学校 事 務 長 山本めぐみ	○学校給食センター 所長兼業務係長 竹脇剛	栄養士(栄養教諭) 山口雅司	○幌加内診療所 所 長 森崎龍郎	事務長(兼) 竹谷浩昌	事務次長兼庶務係長事務取扱 堀川剛史	医事係長 金森愛華	看護 師 坂本裕貴	准看護 師 畠山 泉	理学療法士(兼) 小本剛	○朱鞠内診療所 所 長 大山和彦	○町立歯科診療所 医 師 堀 直央





農業センター君



気象データの平年値が変わりました！温暖化？

毎年2月に発行している「幌加内町農業関連試験研究報告書」では巻末に前年の気象データを掲載しています。気象データでは過去30年と比べてどうであったかをグラフで示しています。

平年値は10年毎に区切り、データを10年間分入れ替えます。今年が変わる年で、去年は1981～2010年の30年でしたが、今回は1991～2020年がベースになります。近年問題視される温暖化の影響は出ているのでしょうか？

以下の表では「農耕期間」と言われる「5～9月」の幌加内町の平年値を比較してみました。

項目	1981～2010年	1991～2020年	差	参考：名寄	参考：旭川
最高気温	21.7℃	22.0℃	+0.3℃	+0.1℃	+0.4℃
平均気温	15.9℃	16.2℃	+0.3℃	+0.2℃	+0.4℃
最低気温	10.7℃	11.1℃	+0.4℃	+0.4℃	+0.4℃
降水量	565.6mm	627.3mm	+61.7mm	+46.9mm	+55.0mm
日照時間	781.6 h	782.4 h	+0.8 h	+0.7 h	-5.2 h

気温はわずかに上がっている傾向です。日照時間はどこも大きくは変わってませんが、降水量は軒並み上がり1ヶ月当たり10mm前後増えています。

30年データを10年を入れ替えただけでこの数字。どうやら「地球温暖化」は着々と私たちの環境にも及んでいるのかもしれません。その功罪は？そこから考えませんか？

農業技術センター

ワンポイント知恵袋！

テーマ：身近な生薬③

《ショウガ（生姜）の効用》

ショウガは「ホントに身近！」とも言える植物（生薬）のひとつです。

漢方薬として使う場合は天日干し等で乾燥させますが、民間療法的には「新ショウガ」もしくは前年掘りあげた「ヒネショウガ」を生そのまま使うことが多いようです。

処理方法

生そのまま使うのが一般的ですが、漢方では天日干し、蒸した後天日干し等もあります。

利用方法

民間療法的には、

「胃の調子が悪いとき」：ショウガ1日量3～8グラムを600cc、を半量になるまで煮詰めて、3回に分けて毎回温めて飲用する。

「二日酔い、つわり、吐き気、むかつき」～ヒネショウガをおろして、味噌と大根おろし・刻みネギ・シソ等と混ぜて熱湯を注いで飲む。

「風邪」～ショウガを加えた葛湯は、体を温め免疫力を高める効果が期待できるので風邪の季節にはおススメです。

*効能は文献によって諸説ありますが、共通する部分を掲載しました。





令和3年度「税を考える週間」書道展

令和3年度「税を考える週間」書道展が11月19日～12月3日まで生涯学習センターのアトリウムに展示され、書道展入賞者の表彰式は11月30日に（火）に各小中学校で行われました。

書道展入賞者

○中学生の部

金賞	きた 北	むら 村	ゆず 柚	の 乃	(1年)
銀賞	あら 新	え 江	ここ 心	な 和	(2年)
銅賞	なか 中	の 野	ここ 湖	み 実	(3年)

○小学3・4年生の部

金賞	こ 古	や 屋	とう 燈	じ 士	(3年)
銀賞	せん 仙	まる 丸	わ 和	く 空	(3年)
銅賞	はた 畑	ま 茉	ほ 歩		(3年)

○小学1・2年生の部

金賞	こん 近	とう 藤	みお 滯	(2年)
----	------	------	------	------

○小学6年生の部

金賞	あい 相	ざわ 澤	ね 寧	な 々	(6年)
銀賞	もり 森	さき 崎	ゆ み 優美子		(6年)
銅賞	こん 近	とう 藤	ゆういちろう 祐一郎		(6年)

○小学5年生の部

金賞	たか 高	まつ 松	りつ 律	き 希	(5年)
銀賞	いな 稲	み 見	ゆ 結	あ 愛	(5年)
銅賞	いち 市	むら 村	と 百	さ 沙胡	(5年)



しめ縄づくり教室

11月27日（土）生涯学習センターアトリエにて「しめ縄作り教室」が行われました。参加された児童は講師から丁寧な指導を受けながら、来年も良い年でありますようにと願いが込められたしめ縄が完成しました。



双葉保育園お遊戯会

12月4日（土）双葉保育園でお遊戯会が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参観人数を制限し、会場を入れ替え制にするなど感染対策を講じての開催となりました。

子供たちはそれぞれ素敵な衣装に身を包み、お遊戯や劇、太鼓を元気よくお父さん、お母さんに披露しました。



1 January イベントカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
【時短営業のお知らせ】 1/1~1/3 (3日間) ご入浴 10:00 ~ 18:00 レストラン (昼) 11:30 ~ 14:00 (夜) 休業					1 粗品プレゼント!! 十割そばフェア レディーススタンプ Day (2倍) レストラン 夜休業	
2 粗品プレゼント!! レストラン 夜休業 ファミリースタンプ Day (2倍)	3 粗品プレゼント!! レストラン 夜休業	4	5 休館日	6 平日ランチフェア	7 平日ランチフェア	8 十割そばフェア レディーススタンプ Day (2倍)
9 十割そばフェア ファミリースタンプ Day (2倍)	10 (成人の日) 十割そばフェア	11 平日ランチフェア	12 休館日	13 平日ランチフェア	14 平日ランチフェア	15 十割そばフェア レディーススタンプ Day (2倍)
16 十割そばフェア ファミリースタンプ Day (2倍)	17 平日ランチフェア	18 平日ランチフェア	19 休館日	20 平日ランチフェア	21 平日ランチフェア	22 十割そばフェア レディーススタンプ Day (2倍)
23 十割そばフェア ファミリースタンプ Day (2倍)	24 平日ランチフェア	25 平日ランチフェア	26 休館日	27 平日ランチフェア	28 平日ランチフェア	29 十割そばフェア レディーススタンプ Day (2倍)
30 十割そばフェア ファミリースタンプ Day (2倍)	31 平日ランチフェア ルオントスタンプ Day (5倍)					



ルオント スタンプDay (スタンプ5倍)・・・入浴者全員対象 (月末) 実施
 レディース スタンプDay (スタンプ2倍)・・・女性全員
 ファミリー スタンプDay (スタンプ2倍)・・・家族全員対象
 誰でも スタンプDay (スタンプ2倍)・・・入浴者全員対象

* 他スタンプDay及び割引、サービスとの併用不可
 * スタンプの押印は有料入館者に限ります

住民税・確定申告の受付期間は、令和4年2月16日 (水) から令和4年3月15日 (火) までです。(土日祝除く)

町からのお知らせ

令和4年1月1日現在、幌加内町に住んでいる方は、住民税の申告または確定申告により、令和3年中の所得を申告していただくことになっています。
 申告をされないと、所得証明が発行されない場合や、国民健康保険税の軽減制度が適用されない場合がありますので、忘れずに申告してください。



税務署からのお知らせ

確定申告書は、パソコンやスマホで作成できます！
 マイナンバーカードとマイナンバー読取対応のスマートフォン又はICカードリーダーライターをお持ちの方は、作成した申告書を「e-Tax」を利用して提出できます。
 また、事前に税務署で手続きいただければ、マイナンバーカードとマイナンバーカード読取対応のスマートフォン又はICカードリーダーライターをお持ちでない方でも「e-Tax」をご利用できます。



【お問い合わせ先】

住民税に関すること・・・ 役場住民課税務係 ☎35-2121 (内線157)
 所得税に関すること・・・ 深川税務署 ☎0164-23-2191



屋根からの落氷雪事故防止などのお願い

毎年、沿道家屋等からの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期の通行を円滑にし、事故を無くすため、次のことに注意するようお願いいたします。

◆丈夫な雪止めの設置

落氷雪事故の発生が懸念される沿道家屋等については、**丈夫な雪止めを設置**してください。また、**雪止めの老朽化等による破損**も落氷雪事故の発生につながります。**必ず点検**し、破損等が発見された際は**早急に修繕**してください。

◆発生しやすいタイミングは？

落氷雪事故は、気温が**マイナス3度からプラス3度程度**のときに発生しやすいという特徴があります。早めの除雪をお願いいたします。

除雪は必ず複数人で行い、歩行者や遊んでいる子供等に十分注意してください。

◆雪が落ちたらすぐに除去を！！

直ちに**負傷者がいないか確認**するとともに、歩行者の通行の支障にならないように除去してください。

なお、交通事故及び交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。

◆軒下や道路の通行に関して

屋根からの落氷雪に十分注意してください。

軒下や道路では、絶対に子供達を遊ばせないでください。

◆高い建物に注意

ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は**少量でも危険**であるため、早めに付着した氷雪の除去を行ってください。

また、氷雪の除去の際には、歩行者への十分な安全対策を行うようにしてください。



北海道開発局・北海道・北海道警察・幌加内町

【国道についてのお問合せ先】

旭川開発建設部公物管理課	旭川市宮前1条3丁目3番15号	☎ 0166-32-1498
旭川開発建設部旭川道路事務所	旭川市神楽1条6丁目	☎ 0166-61-0136
旭川開発建設部士別道路事務所	士別市大通西15丁目3142番地31	☎ 0165-23-3146
旭川開発建設部富良野道路事務所	富良野市字西扇山1番地	☎ 0167-23-3171

令和3年 幌加内町の主なできごと

1月

- 1日 スキー場町民開放
- 8日 朱鞠内湖漁協安全祈願祭
- 10日 成人式
- 14日 第1回議会臨時会
町功労者表彰式

3月

- 4日～11日 第1回議会定例会
- 9日～11日 予算審査特別委員会

4月

- 7日 第2回議会臨時会

5月

- 8日 母子里地区避難訓練
- 25日 第3回議会臨時会

6月

- 22日 第2回議会定例会
- 25日 朱鞠内湖湖水開き・雨竜ダム建設
殉職者及び水難事故者慰霊祭
- 26日 朱鞠内地区避難訓練 (写真①)



7月

- 17日 添牛内地区避難訓練
- 29日 災害対策懇談会
- 31日～9月5日 第10回政和アート
Fes2021 (写真②)

8月

- 10日 第4回議会臨時会



9月

- 16日 第3回議会定例会

10月

- 3日 三頭山の日 登山会(写真③)
- 9日 幌加内高等学校～地域みらい留学
365オープンスクール
- 22日 秋の交通安全啓発パレード
- 24日 生涯学習フェスティバル
～ピアノ発表会～
- 25日～27日 決算審査特別委員会
- 29日 北海道赤十字血液センターとの地
域振興協定(写真④)

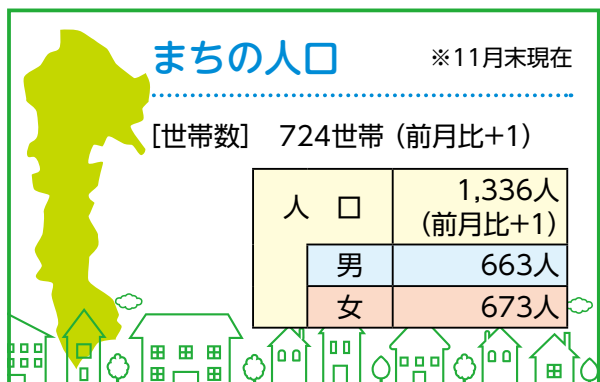


11月

- 3日 生涯学習フェスティバル
～芸能発表会～
- 5日 戦没者追悼式
- 24日 朱鞠内地区24時間積雪量最高記録
更新(66⇒77cm)
- 26日 ほろたちスキー場安全祈願祭
- 30日 第5回議会臨時会

12月

- 9日 第4回町議会定例会



編集室から

新年明けましておめでとうございます。

2022年最初の表紙は、双葉保育園「おゆうぎ会」から太鼓をたく顔が凛々しいワンショットを選ばせていただきました。

今年は「寅年」ということで、虎から連想されるように勇猛果敢で周りを見渡す力があることから、問題が明瞭になりやすいとされています。

コロナが収束し、イベントや催しごとがたくさんできる良い一年を迎えられますことを切に願います。